

トヨタマリンが「帳票DX」を採用
請求書など各種帳票作成の自動化によりDX推進プロジェクトを支援

株式会社オプロ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：里見 一典、以下「オプロ」）は、トヨタ自動車株式会社マリン事業部（以下「トヨタマリン」）において、「帳票DX」が採用されたことをお知らせいたします。

今回の採用により、トヨタマリンでは、Salesforce と連携した顧客帳票・請求書の自動生成を実現します。これにより、手作業によるデータ転記を低減し、帳票業務の品質向上と工数削減を目指します。

TOYOTA MARINE 帳票DX

採用の背景

トヨタマリンでは、DX推進プロジェクトの一環としてSalesforceを中核とした業務基盤の整備を本格化しており、帳票業務においてもSalesforceとのシームレスな連携が経営課題の一つとして位置づけられていました。

こうした状況のなか、マリン事業の将来を見据えてSalesforce連携を標準機能として備えた「帳票DX」の採用が決定しました。より高度な自動化と業務効率化を実現できる点が評価され、採用に至りました。

採用による期待

DX推進プロジェクトのリーダーであるトヨタマリン 西田健一氏は、「今回、『帳票DX』の採用により、Salesforceのデータを直接帳票に反映する自動生成が実現できたことで、手動転記の低減による品質向上とさらなる業務効率化に向けて、TPS（トヨタ生産方式）によるカイゼンを継続していきたい。」と期待を寄せています。

帳票DXについて

「帳票DX」は日本のビジネスに欠かせない帳票業務をデジタル化するサービスです。SFA/CRMなど業務支援ツールのデータを自由なデザインで帳票出力します。帳票DXのデザインツールは直感的な操作が可能で業務の内製化を支援するとともに、電子契約サービスやクラウドストレージ、AI-OCRと連携して後続プロセスの自動化も実現します。「AIマッピング」機能によって効率的にテン

プレートを作成できるほか、電子帳簿保存法やインボイス制度などの法改正に対応することができます。

・ サービスサイト：<https://www.opro.net/service/formdx/>

株式会社オプロ

オプロは「make IT simple」のミッションのもと、お客様の新たなビジネスや価値の創出を支援します。「Less is More」を開発指針とし、データ最適化ソリューション・セールスマネジメントソリューションを通して最適なサービスを提供しております。そして、真の顧客サクセスを実現すべく、サービスを更に進化させてまいります。

・ <https://corp.opro.net/>

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社オプロ（東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビルディング 9F）

お問い合わせ先：<https://corp.opro.net/contact/media.html>（広報チーム）